

調査の概要

1 調査の目的

老人保健施設は、95年7月末で1,161施設。施設設置の整備が始まった88年から、わずか7年4ヶ月で、入所定員数が10万床を突破した。今後も、安心して老後を過ごしたいという国民のニーズにより、老人保健施設への期待はますます高まっていくことが予測される。一方看護職サイドから見れば、老人保健施設は、看護職が実質的な管理・運営が行える新たな領域として着目されている。老人保健施設の実態については、毎年厚生省が調査を実施しているが、看護に視点を合わせた調査は、これまで行われていない。

そこで、老人保健施設に入所してくる者の状態、退所の状況、在宅支援の実態、看護職の施設内の位置づけや看護職の担っている役割等を把握し、看護職にとっての今後の課題を検討するための基礎資料とする。

2 調査対象

調査票への記載は全国の老人保健施設の看護職の中で最も職位の高い人をお願いした。しかし実際には立場の違う人が回答したケースもある。

3 調査方法

1994年5月末以前に開所した施設全数868施設。「(社)全国老人保健施設協会正会員名簿平成6年5月31日」を参照し調査票を郵送し、回収した。

調査実施にあたって、社団法人全国老人保健施設協会より、調査実施の賛同を得た。

4 調査の時期

1995年11月

5 調査票の回収状況

調査票発送数868。回収票403。有効回収率47.0%。

6 調査の担当

調査・情報管理部、岩下清子、石田昌宏、藤田和夫。

7 調査票

老人保健施設における看護実態調査

1995年11月

社団法人 日本看護協会

ご挨拶とお願い

高齢社会の進展にともない、老人保健施設は看護職の新たな活動領域として、本会でも注目しております。そこで、介護職との関係や、管理、ケアプランなどをはじめ、看護職が担っている役割を把握し、看護職が充分にその役割を果たせる対策を立てる上での基礎資料を作成するために、この調査を企画しました。

お答えになった結果は数量的に処理いたしますので、お答えになった方にご迷惑がかかるようなことはございません。どうぞ率直なお答えをお聞かせ下さい。

お忙しいとは存じますが、何卒調査の主旨をおくみとりいただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

- ・本調査は、全国の老人保健施設を対象として実施しております。
- ・調査票への記入は、特にことわりのない限り1995年10月1日の状況でお答え下さい。
- ・調査票の記入は、看護職の中で職位が最も高い方をお願いします。
- ・あてはまる選択肢の番号に○をつけ、()には適当な文字または数字を記入して下さい。
- ・調査票へのご記入がすみましたら、同封の本協会あての返信用封筒に入れて、切手を貼らずに返送してください。返送は1995年11月20日までにお願いいたします。
- ・この調査についてのお問い合わせは下記をお願いします。

社団法人 日本看護協会 調査研究室

〒150 東京都渋谷区神宮前5-8-2 電話 03-3400-8382

担当 藤田、石田 ファックス 03-3400-8336

【施設の概況】

- F 1 貴老人保健施設の住所 ()都・道・府・県
- F 2 貴老人保健施設の開設年月 19()年()月
- F 3 貴老人保健施設の設置主体
- | | | |
|---------------|----------|------------|
| 1.医療法人 | 2.社会福祉法人 | 3.国、地方公共団体 |
| 4.公的・社会保険関係団体 | 5.その他 | |
- F 4 貴老人保健施設の併設機関(複数回答可)
- | | | | |
|--------------|--------------|---------|-----------|
| 1.病院 | 2.診療所 | 3.歯科診療所 | 4.軽費老人ホーム |
| 5.養護老人ホーム | 6.特別養護老人ホーム | | |
| 7.在宅介護支援センター | 8.訪問看護ステーション | | |
| 9.その他() | | | |

F 5 入所者の定員、実員(1995年10月1日現在)

全入所者数 A) 定員()人 B) 実員()人
 内訳 { 短期入所ケア加算 A) 定員()人 B) 実員()人
 { 痴呆性老人加算 A) 定員()人 B) 実員()人
 { 痴呆専門棟加算 A) 定員()人 B) 実員()人

F 6 貴老人保健施設の平均入所日数 ()日

F 7 入所者の入所経路、退所者の退所先(1994年4月1日～1995年3月31日)

入所者数	()人	退所者数	()人
入所経路 (内訳)	家庭から ()人	退所先 (内訳)	家庭へ ()人
	医療施設から ()人		医療施設へ ()人
	社会福祉施設から ()人		社会福祉施設へ ()人
	その他から ()人		死亡 ()人
			その他へ ()人

F 8 施設全体の職員数(常勤換算)

A) 看護婦(士) ()人 B) 准看護婦(士) ()人
 C) 保健婦(士) ()人 D) 医師 ()人
 E) 介護職員 ()人 → うち介護福祉士 ()人
 F) 理学療法士 ()人 G) 作業療法士 ()人
 H) 相談指導員 ()人 I) 栄養士 ()人
 J) 事務職員 ()人 K) その他職員 ()人

F 9 施設長の職種

1. 医師 2. 保健婦(士) 3. 看護婦(士) 4. その他()

【回答者】

F 10 役職名 ()

F 11 年齢 ()才

F 12 今の施設での就業年数(開設準備期間を含む、半年以上切り上げ) ()年

F 13 所持免許(複数回答可)

1. 保健婦(士) 2. 助産婦 3. 看護婦(士) 4. 准看護婦(士)
 5. その他()

F 14 前職(今の老人保健施設に勤める前で直近の就労場所)

1. 他の老人保健施設 2. 病院 3. 特別養護老人ホーム・養護老人ホーム
 4. 診療所 5. 市区町村 6. 都道府県・保健所 7. 教育機関
 8. その他()

F 15 直属上司の職位 ()

【入所者の状態】

★1995年10月1日現在の入所者(ショートステイ含む)についておたずねします。

- 問1 入所者の平均年齢 ()才
- 問2 入所者のうち、過去1年間(1994年10月1日～1995年9月30日)にも貴施設に入所したことがある人 ()人
- 問3 現在の入所者の医療状態(重複回答可)
- A) 軟膏塗布・湿布などを必要としている ()人
 - B) 服薬援助を必要としている ()人
 - C) 点滴を受けている ()人
 - D) 介護機器を使用している ()人
 - E) 医療器具を装着している ()人
 - F) 施設外に通院している ()人
 - G) ターミナル期にある ()人
- 問4 入所者の日常生活動作の介助状態

	自立	部分介助	全介助
A) 寝返り	()人	()人	()人
B) 食事	()人	()人	()人
C) 起座	()人	()人	()人
D) 立ち上がり	()人	()人	()人
E) 歩行	()人	()人	()人
F) 排泄	()人	()人	()人
G) 着脱衣	()人	()人	()人
H) 入浴	()人	()人	()人

【施設内ケア】

- 問5 勤務体制
- A) 看護職は 1. 2交代勤務 2. 3交代勤務 3. その他
 - B) 介護職は 1. 2交代勤務 2. 3交代勤務 3. その他
- 問6 入所から退所まで、看護職は一貫した受持ち制をとっていますか
- 1. はい 2. いいえ
- 問7 入所者の健康状態に関するカンファレンスを行っていますか
- 1. 行っている 2. 行っていない
- ↳ SQ 「1.行っている」の場合、参加する職種をお選び下さい
- 1. 医師 2. 看護職 3. 介護職 4. 理学療法士
 - 5. 作業療法士 6. 相談指導員 7. 栄養士 8. その他()

問 8 アセスメントに基づいた看護・介護計画(ケアプラン)をたてていますか

1. いる 2. いない

→ S Q 1 「1. いる」場合について、立案を行っている人(複数回答可)

1. 看護職 2. 介護職(有資格者) 3. 介護職(無資格者)
4. 医師 5. 理学療法士 6. ケースワーカー 7. その他

→ S Q 2 「1. いる」場合について、個別の看護・介護計画の実施によって、どのような効果がありましたか(複数回答可)

1. 入所者のニーズが把握できるようになった 2. 目標を持って看護ができるようになった
3. 他の職種との情報の共有が進んだ 4. 入所者自身のケアへの参加が増えた
5. 退所がスムーズになった 6. 特になし
7. その他()

問 9 厚生省監修の「高齢者ケアプラン作成指針」を知っていますか

1. 知っている 2. 知らない

→ S Q 「1. 知っている」場合、これをどのように利用したいですか

1. そのまま利用している 2. 工夫して利用している
3. 今後利用したいと考えている 4. 利用する気はない

問 10 入所者の家族に対し、看護職はどのような援助を行っていますか(複数回答可)

1. ケアのやり方の指導をする 2. 面接して悩みごとの相談を受ける
3. 家族会をつくり、支援する 4. 特になし
5. その他()

問 11 入所の決定に、看護職はどのようにかかわっていますか、主なもの一つをお選び下さい

1. 入所の判定委員会のメンバーとしてかかわっている
2. 医師と看護職で入所の決定を行っている
3. 実質的に看護職が入所の決定を行っている
4. かかわっていない

問 12 退所の決定に、看護職はどのようにかかわっていますか、主なもの一つをお選び下さい

1. 退所の判定委員会のメンバーとしてかかわっている
2. 医師と看護職で退所の決定を行っている
3. 実質的に看護職が退所の決定を行っている
4. かかわっていない

問 13 看護職と介護職の業務区分の実態について、あてはまる番号それぞれひとつに○をして下さい

	主に看護職	主に介護職	特に 分けていない	看護職・介護職 以外が行う	このような 業務はない
A) おむつ交換	1	2	3	4	5
B) 入浴介助	1	2	3	4	5
C) 清拭	1	2	3	4	5
D) 食事介助	1	2	3	4	5
E) ベットメイキング	1	2	3	4	5
F) 生活リハビリ	1	2	3	4	5
G) 集団リハビリ	1	2	3	4	5
H) バイタルサイン	1	2	3	4	5
I) 与薬	1	2	3	4	5

1995年 老人保健施設における看護実態調査

(つづき)	主に看護職	主に介護職	特に 分けていない	看護職・介護職 以外が行う	このような 業務はない
J) 診療の介助	1	2	3	4	5
K) 医療物品の管理	1	2	3	4	5
L) カンファレンスのリーダー	1	2	3	4	5
M) 業務改善の立案	1	2	3	4	5
N) 退所時の計画	1	2	3	4	5
O) 施設内の他職種との連絡調整	1	2	3	4	5
P) 行政, 病院, 特養等との連絡調整	1	2	3	4	5
Q) スタッフ教育	1	2	3	4	5
R) ボランティアの管理	1	2	3	4	5
S) ケア計画の責任者	1	2	3	4	5
T) 勤務表の作成	1	2	3	4	5
U) ケア要員の採用方針の決定	1	2	3	4	5
V) 生活記録	1	2	3	4	5
W) 管理日誌	1	2	3	4	5

【在宅支援】

問 14 貴老人保健施設のデイ・ケア、ナイト・ケアの開催状況

A)デイ・ケア

施設として週に()日開催、 1995年9月の1ヶ月間でのべ()人参加

B)ナイト・ケア

施設として週に()日開催、 1995年9月の1ヶ月間でのべ()人参加

問 15 デイ・ケアやナイト・ケアの専任の担当者としての看護婦(士)や准看護婦(士)はいますか

1.いる 2.いない

問 16 貴老人保健施設から退所前の方宅への訪問回数

実施した実人員()人、 1995年9月の1ヶ月間でのべ()件

問 17 貴老人保健施設から退所後の方宅への訪問回数

実施した実人員()人、 1995年9月の1ヶ月間でのべ()件

問 18 貴施設の在宅サービスの利用者数と、そのうち過去1年間(1994年10月1日～1995年9月30日)に貴施設に入所したことがある人数

	利用者数	うち、過去1年間に入所していた人数
A) ショートステイ	()人	・・・()人
B) デイ・ケア	()人	・・・()人
C) ナイト・ケア	()人	・・・()人
D) 訪問看護ステーション	()人	・・・()人
E) 在宅介護支援センター	()人	・・・()人
F) その他()	()人	・・・()人

問 19 地域住民が参加する行事を行っていますか

- 1.ある・・・行事内容() 2.ない

問 20 地域住民を対象とした老人保健施設の見学会などの広報活動を行っていますか

- 1.ある・・・広報内容() 2.ない

【管理・研修】

問 21 看護・介護職員に対する研修を行っていますか

- 1.定期的に行っており、全職員が参加する
2.計画的でなかったり、対象者が限られたりしているが行っている
3.行っていない

問 22 研修の内容はどのようなものですか(複数回答可)

- 1.日常生活の介助技術 2.最新の看護知識 3.ケアプランのたてかた
4.その他()

問 23 研修に関して困難に思っていることをご自由にお書き下さい

()

問 24 看護職と介護職の業務上での分担についてどのようにしていますか

- 1.明確に分担をしている
2.ある程度分担をしている
3.ほとんど分担していない
4.まったく分担していない

→ S Q 分担している場合、その基準は何ですか

- 1.業務内容 2.入所者の状態 3.管理上の地位
4.その他()

問 25 看護職は、実質的に、施設全体の管理運営を担っていますか

- 1.担っている 2.担っていない

問 26 看護職は、施設のケア全体の責任を持つポストについていますか

- 1.はい 2.いいえ

問 27 フロアの責任者はどの職種の者がなっていますか

- 1.看護職 2.介護職 3.職種にかかわらず適性のある人がなる
4.その他()

* 貴老人保健施設の組織図がありましたら、アンケートの返送の際に、封筒に同封して下さい。

問 28 国の定めている看護・介護職員の配置基準では、看護職員の比率が7分の2以上になっています
この比率についてどう思いますか

- 1.看護職員が少ない 2.介護職員が少ない 3.適当な比率である

問 29 看護職員について、今後、看護婦(士)と准看護婦(士)のどちらを増やしたいですか

- 1.看護婦(士) 2.准看護婦(士) 3.どちらでもよい

問 30 介護職員について、今後、介護福祉士と無資格者のどちらを増やしたいですか

- 1.介護福祉士 2.無資格者 3.どちらでもよい

問 31 看護・介護職員の採用のしやすさについて、採用しやすい順に1.2.3.4の番号をつけて下さい

- A)看護婦(士) () B)准看護婦(士) ()
C)介護福祉士 () D)無資格者 ()

【満足度】

問 32 以下の項目について、看護職員は満足していると思いませんか。

あてはまる番号にそれぞれひとつ○をして下さい

	たいへん満足している	まあまあ満足している	あまり満足していない	ほとんど満足していない
A)業務の内容	1	2	3	4
B)勤務形態	1	2	3	4
C)給与	1	2	3	4
D)給与以外の労働条件	1	2	3	4
E)他職種との連携	1	2	3	4
F)施設の方針	1	2	3	4

問 33 以下の項目について、介護職員は満足していると思いませんか。

あてはまる番号にそれぞれひとつ○をして下さい

	たいへん満足している	まあまあ満足している	あまり満足していない	ほとんど満足していない
A)業務の内容	1	2	3	4
B)勤務形態	1	2	3	4
C)給与	1	2	3	4
D)給与以外の労働条件	1	2	3	4
E)他職種との連携	1	2	3	4
F)施設の方針	1	2	3	4

問 34 あなたは老人保健施設の看護で、何を一番大切にしていますか

問 35 あなたは、老人保健施設で看護職が働くことの意義をどう考えていますか

問 36 あなたが、看護職のスタッフに対して望むことをお書き下さい

以上です。お忙しい中をご協力ありがとうございました。

なお、書き漏らしなどがございましたと、せっかくのお答えが無駄になることがございますので、ご面倒でも、もう一度ご記入の確認をお願いします。

さしつかえなければ、貴施設名、回答者ご氏名をお書き下さい

貴施設名 ()
回答者名 ()